

データ作成・提出について

(ア) 様式：データは、「Word：A4 縦・2 ページ以上（上限なし）」で作成

(イ) 手順

- ① フォーマットを入手。
- ② 次の<作成時のポイント>を参考に、『論文』を作成。
- ③ 一旦完成したら担当教員にチェック出し。修正⇒チェック出し…を繰り返す。
※チェック出し前に、必ず<作成時のポイント>をチェックしてください。
- ④ 完成した最終データは、フォーマットがあった場所にUP（上書き）して提出。
- ⑤ ワードと合わせて、PDF にしたファイルも提出（ワードとPDF の2 種類提出）。

<『論文』作成時のポイント>

イ) 『論文』の役割りとは？

主には、「自分たちの研究内容を、多くの読者にわかってもらうこと」だ！

つまり、研究目的・方法・結果・結論をそれぞれ簡潔に伝え、自分たちの発見・考えを多くの読者に理解・納得してもらうことが『論文』の使命である。

また、読者は多くの『論文』に目を通す。決まった書式に揃えることが重要である。

ロ) 『論文』の評価方法について

以下の観点①～⑩を、各2点満点で評価（別紙「ルーブリック」を用いて）する。
どのような点が評価の対象になるのかを認識して、作成に取り組むこと。

創造性		探究プロセス		系統的理解		考察・結論		文章表記	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
オリジナリティ	課題記述	仮説設定	研究根拠	先行研究	結果	考察過程	結論内容	文章表記	完成度

ハ) **提出前のチェックポイント** ※必ず書式をそろえること！

観点	確認	内容
A	<input type="checkbox"/>	ファイル名は、フォーマットから変更していないか？
B	<input type="checkbox"/>	A4 縦・2 ページ以上（上限なし）で作成されているか？
C	<input type="checkbox"/>	余白は、「レイアウト」>「余白」>「やや狭い」となっているか？
D	<input type="checkbox"/>	項目の階層は、1.【全角＋ピリオド】→(1)【丸括弧】→①【丸囲み】→1)【半括弧】で、原則統一されているか？
E	<input type="checkbox"/>	裏面「二」基本構成（研究目的・方法・結果・考察・結論）に準じた構成となっているか？ ※項目タイトルは、上記にあわせなくてもよい。
F	<input type="checkbox"/>	文章の書き方は、裏面「ホ」文章の表現方法に従っているか？
G	<input type="checkbox"/>	全体の書式は、裏面「ト」統一フォームに揃っているか？
H	<input type="checkbox"/>	グラフや図には、タイトルかキャプション（説明文）がついているか？ ※白黒印刷される場合があるので、グラフの線種などを工夫すること。
I	<input type="checkbox"/>	最終項目は、「参考文献ならびに参考 Web ページ」となっているか？ 参考文献等が不足なく書かれているか？
J	<input type="checkbox"/>	「参考文献ならびに参考 Web ページ」の書き方。 <ul style="list-style-type: none"> ・書籍：全著者の氏名（発刊年） 『書名』 ページ数 発行元 ・Web：全制作者の氏名（更新年） 『Web タイトル』 URL 閲覧日
K	<input type="checkbox"/>	なぜこの研究テーマにしたかが、簡潔かつ論理的に述べられているか？
L	<input type="checkbox"/>	各項目の内容は、“簡潔”かつ“論理的”に書かれているか？ 説明は過不足なく書かれているか？ 飛躍しているところはないか？
M	<input type="checkbox"/>	説明に必要なデータ（グラフ、図、表など）はすべて掲載しているか？ 意図的なデータの改ざんは行われていないか？
N	<input type="checkbox"/>	事実（≒結果）と意見（≒考察）を、区別して書いているか？ ※特に、研究では「考察」が大切です。丁寧に説明するように。
O	<input type="checkbox"/>	研究の「まとめ（結論）」が書かれているか？ ※結論のない論文は、論文ではない！ 考察とまとめても可だが、必ず書くこと。

二) 基本構成

- 1. はじめに
 - ◇ 研究動機、理由、意義、着眼点を論理的かつ簡潔に記す。
- 2. 実験方法・材料、調査方法
 - ◇ 第三者が読んで理解できる・再現できるように、具体的に記す。
- 3. 結果
 - ◇ データから分かる“客観的な事実”のみを記す。自身の解釈や考察はここには記さない。図やグラフを用いる場合は、単位やそれが何のデータを表すのかがわかるようにする。
- 4. 考察
 - ◇ 得られた結果から自身の考えや見解、データからわかること(=“意見”)を記す。
「3.結果(≒事実)」とうまく切り分けるように。
- 5. まとめ(結論・展望)
 - ◇ 「4.考察」から言えることや、仮説に対する答え、これからの課題等を記す。
 - ◇ 「4.考察」とまとめて可だが、必ず結論を入れること。
 - ◇ 実験協力者がいれば、最後に「7. 謝辞」を入れること。
- 6. 参考文献
 - ◇ 研究にあたり参考にした文献や Web ページなどを洩れなく記す。

ホ) 文章の表現方法

論文は自分が行ったことを記すので、「2. 実験方法」や「3. 結果」は過去系で記しましょう。

論文には口語的な叙述は好ましくないとされています。したがって“話し言葉”ではなく、“書き言葉”を使うよう心がけましょう。以下に幾つかの「好ましくない表現」と「改善策」の例を記載します。

好ましくない表現	改善策	好ましくない表現	改善策
考える	考察する	思う	見なされる 考えられる 等
作る	作成する	だから	したがって このため 等
いろいろな	様々な	たくさん	多く
いちばん～	最も～	だんだん～	次第に～/徐々に～

ハ) その他

グラフや表、画像などの応用的な点については担当教員に質問するなどして、よりよい論文を作成するように努めてください。

